

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|---------|--|-------------|-----------------------|
| 授業科目 (ナンバリング) | 総合実習 (事前学習) (NF417) (実践的教育科目) | | | 担当教員 | 大磯 茂*・早川 正信*・室 高広*・神田 紘介*・ 大久保 伸哉*・末廣 真理恵*・中島 健輔*・ 相田 美和・高崎 伸也・藤木 司・縄田 陽子・ 中村 沙織 (※実務経験のある教員) | | |
| 展開方法 | 実習 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 4 年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ ラーニング の類型 |
| 薬局および病院における実務実習において参加・体験型の実習を円滑に行うことができるように、調剤Ⅰ (事前学習)、調剤Ⅱ (事前学習)、生物薬剤 (事前学習) および処方箋解析 (事前学習) での学びを踏まえ、調剤、調剤薬鑑査、情報提供、服薬指導、無菌操作などに関する基本的技能、態度を総合的に修得することを目標とする。 | | | | | | | ①④⑩ |
| | 学生の授業における到達目標 | | | | | 評価手段・ 方法 | 評価 比率 |
| 専門力 | <ul style="list-style-type: none"> 処方せん受付から服薬指導までの一連の流れを理解し、実施事項および実施上の注意点を説明できる。 処方せんに基づき、調剤をシミュレートできる。 調剤薬の鑑査をシミュレートできる。 無菌操作の原理を理解し、基本的な無菌操作を実施できる。 | | | | | 随時試験 (実技) | 60% |
| 情報収集、 分析力 | <ul style="list-style-type: none"> 薬学的管理に必要な情報を適切に収集し、分析できる。 | | | | | 随時試験 (実技) | 30% |
| コミュニケーション力 | <ul style="list-style-type: none"> 患者や医師・看護師等の医療従事者への薬の情報の適切な提供をシミュレートできる。 | | | | | 随時試験 (実技) | 5% |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | <ul style="list-style-type: none"> 患者が多様であることを理解し、模擬患者に適切に接することができる。 | | | | | 随時試験 (実技) | 5% |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 評価比率を 100% とする実技随時試験を行う。評価比率の内訳は、各実習において、専門力各 10% (10%×6=60%)、情報収集、分析力各 5% (5%×6=30%) とし、薬局および病棟での患者対応でコミュニケーション力各 5% (5%×2=10%) とする。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| 病院または薬局における薬剤師としての実務経験を有する教員が、調剤、調剤薬鑑査、無菌操作、情報提供、服薬指導などの実習を総合的に行う。実習開始前日までに実習書を配布する。実習当日、必要に応じてプリントを配布する。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 教科書:スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ 臨床薬学の基礎および処方箋に基づく調剤 (東京化学同人) 参考書:スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ 薬物療法の実践 (東京化学同人) スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅲ チーム医療および地域の保健・医療・福祉への参画 (東京化学同人) 調剤学総論改訂 12 版 (南山堂)、臨床調剤学 (南山堂)、調剤指針第十三改訂 (薬事日報社) 指定図書:スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ 臨床薬学の基礎および処方箋に基づく調剤 (東京化学同人) スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ 薬物療法の実践 (東京化学同人) | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 本実習は、実務実習に参加する前に学内で調剤、調剤薬鑑査、無菌操作、情報提供、服薬指導などに関する基本的技能、態度を学ぶことのできる最後の機会であることを認識すること。 実習書及び教科書を用いて次回の実習内容を予習するとともに、当日配布するプリントを利用して復習をすること。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 | 到達目標番号* |
|---|-------|--------------------------------|--|---|
| 1 | 総合実習 | 調剤Ⅰ（大磯・大久保・縄田） | 教科書 p 124 ～133 および 実習書の予習 | 916, 925, 927 |
| 2 | 総合実習 | 調剤Ⅱ（中島・藤木） | 教科書 p 124 ～133 および 実習書の予習 | 916, 925, 927 |
| 3 | 総合実習 | 調剤鑑査、持参薬確認（室・相田） | 教科書 p 161 ～164 および 実習書の予習 | 917, 918, 919, 932 |
| 4 | 総合実習 | 薬局での患者・来局者対応、患者教育、疑義照会 （早川） | 教科書 p 165 ～181 および 実習書の予習 | 944, 946, 947, 949, 1050, 1051 |
| 5 | 総合実習 | 病棟での患者対応、服薬指導、患者教育 （神田・中村） | 教科書 p 165 ～181 および 実習書の予習 | 944, 946, 947, 949, 987, 1013, 1014 |
| 6 | 総合実習 | 無菌操作（末廣・高崎） | 教科書 p 148 ～160、P213～ 222 および実 習書の予習 | 930, 976 |
| 7 | 随時試験 | 実技試験 | | |

注) 上記の第1回～第7回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。

実習サポート助手：高島 啓吾